

オートクラフト
白髭さんZ#6前期ユーザー必見の
車装メニューがついに完成!

開発車両は公認車検の取得時に将来的なポテンシャルアップも視野に入れて、ワイドボディ化を敢行。吸排気チューンのFA24に前後265/35R18の足元はオーバースペックだが、過給機チューンの伸び代を考えると賢明な先行セットアップと言える。

A.C.E+ 発

Z#6前期 ×

FA24換装プロジェクト

オートクラフト 京都府京田辺市大住大峯1-7 ☎0774-64-6466 <https://www.auto-craft.net>

2・4化された心臓部やボディ剛性の引き上げなど、一世代差とは思えないほどの進化を果たしてきたZ#8。少しでもポテンシャルの差を埋めようとZ#6へのFA24スワップにチューナー達が取り掛かる中、敢えてECUやハーネスなどの変更が必須とされるZ#6前期を使って「前期制御のままOK」なスワップメニューの開発に挑んできたのがオートクラフトだ。

「エンジンだけでなく、ハーネスやECUまで揃えてZ#6前期にFA24を換装すれば、それだけで軽く200万円オーバー。FA24スワップはオーバーホール時期を迎えている前期ユーザーにとって絶好の大型アップグレードメニューとなるはずなのに、価格の壁が立ちはだかってしまっている。そこで、コストに優れたメニューを実現すべく、前期制御のままでのFA24スワップに取り組みました」とは白髭さん。

Z#8と近い制御の中期的に後期ならともかく、点火時期制御に欠かせないクランク角センサー方式が大きく異なる前期でハーネスやECUそのままにFA24を換装するのは無理難題だと思われていた。しかし、オートクラフトはビックアップブレイクを得意とするアイデアを繰り返して

FA24スワップ開発車両の排気系は、HKSのスーパーマニホールド+キャタライザー-Rスペックに、FA20ターボ時代に装着していた90φワンオフチタンマフラーの組み合わせ。「音量抑制バルブの開放でも抜けすぎという印象は一切なかった」とのことからも、FA24のポテンシャルの高さが分かる。

吸気系はHKSコールドエアインテークシステムを装備。オートクラフトではスワップ完了に満足することなく、後期インマニやFA24エアフロなど周辺パーツを変えてのセットアップにも取り組んでいく。

